



調査

2 菌の落ち方

牛豚合挽ミンチを手付けて疑似的に汚した後、各条件で汚れを落とし、菌の状況を培地※1で確認しました。

比較の基準	条件	菌の状況
<p>何もしない</p> <p>菌数※2 100</p> <p>手のひらから満遍なく菌が検出された。</p>	<p>1 水道水で洗う</p> <p>菌数 22</p> <p>「何もしない」と比較すると菌は減ったが、衛生的とは言えない。</p>	<p>2 石けんで洗う</p> <p>菌数 8</p> <p>「何もしない」と比較すると、大きく菌が減り、衛生的になった。</p>

※1 菌が育つための栄養が入った寒天。菌が寒天に付着すると、目に見える状態にまで増殖します。

※2 手洗い前の状態を100として、各条件下での数値を算出しています。



条件	菌の状況
<p>3 紙おしぼりで拭く</p> <p>菌数 26</p> <p>「何もしない」と比較すると菌は減ったが、衛生的とは言えない。</p>	<p>4 石けんで洗い、アルコール消毒</p> <p>菌数 1</p> <p>全条件の中で最も菌が減り、とても衛生的になった。</p>

まとめ 最も菌が減少したのは、石けん洗いとアルコール消毒の組み合わせでした。紙おしぼりでもある程度の菌が減少しましたが、紙おしぼりの使用だけでは衛生的であるとは言いきれない結果になりました。食事の前は石けんを手を洗い、どうしても手洗いができない場合は、おしぼりでしっかり拭きましょう。

ここで確認!

正しい手の洗い方

厚生労働省ホームページ掲載の方法。すぎは30秒を目安にすると、しっかり菌を落とすことができます。

- 流水でよく手を濡らした後、せっけんをつけ、手のひらをよくこすります。
- 手の甲を伸ばすようにこすります。
- 指先・爪の間を念入りにこすります。
- 指の間を洗います。
- 親指と手のひらをねじり洗います。
- 手首も忘れずに洗います。

おしぼりの汚れ落とし効果

飲食店で出てきたり、お弁当と一緒にもらったりすることのある「おしぼり」。食べる前に使うことがありますが、実際の程度汚れを落とすことができているのでしょうか。商品検査センター「りんご館」で調査しました。

微生物
検査担当
都甲
俊彦



調査

1 汚れの落ち方

疑似汚れとして手洗いチェッカーローションを手指にすりこみ、各条件下での汚れの状況を確認しました。



手洗いチェッカーローション

*手洗いチェッカーローションはブラックライトにかざすと光る性質をもちます。

比較の基準	条件	汚れの状況
<p>何もしない</p> <p>全体的にローションが付いている。</p>	<p>1 水道水で洗う</p> <p>全体的に薄くなったものの、ローションは残ったまま。</p>	<p>2 石けんで洗う</p> <p>指先の一部や、指の付け根にわずかに残ったが、ローションはほぼ落ちた。</p>
		<p>3 紙おしぼりで拭く</p> <p>手のひらや指など、おしぼりでしっかり拭いた部分のローションは取れたが、それ以外は残ったまま。</p>

実験の様子



まとめ

おしぼりのみで汚れを落とそうとすると、しっかりと拭き取る必要があります。おしぼりは石けんでの手洗いよりも「汚れが落ちにくい」ことを意識しておく必要があります。